



CASE
12
平成 27 年度

切り文字屋オッケイ株式会社
小規模事業者嬉しい
展示会出展キットを開発

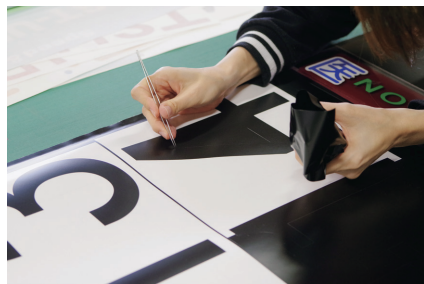


イラストレーターのいせきあいさん作画

ABOUT
私たちについて

インターネットでカッティン
グシートを加工販売

2004 年に彫刻業の一部門として、看板や窓、プレートなどに貼る文字やイラストを切り出すカッティングシール・シートをインターネットで販売する事業で創業。当時は個人客中心だったが、女性スタッフのきめ細やかなサポート、豊富な事例やわかりやすいパンフレット、動画での設置方法説明などが評判を呼び、口コミで法人顧客が増加。大型看板などの対応商品も増やしていった。相談から納品までを全て、電話やメールなどで行うため、顧客は全国にいる。



START
事業の背景

展示会出展時に
新しいニーズを発見

きっかけは、地元の展示会に出展したこと。看板やカッティングシートといった商材ではなく、ブースの展示方法に関する質問が多かった。展示会・見本市は開催件数や売上額が増加傾向で、販促活動において重要度を増している。しかし、中小規模の事業者にとって展示会は限られた予算の中で出展料を払い、ブース制作をし、人員をつけるなど負担感も少なくない。そこで、低コストでブースを装飾できるサービスの商品化に着手した。



まるごと
全部入る

ポータブルボックスで収納も運搬も楽ちん



FUTURE
今後の展開

展示会支援を
経営の柱の一つに育てたい

インターネット販売は、地域を問わず顧客を集められる一方で、比較的小ロットで単価も安めなのがネック。また、検索システムのアルゴリズムの変化により検索順位が変動すると、売上に即影響が出るなど不確定要素も少なくない。展示会用の「ブースラッピング」商品は、単価

が高く利益率も高い。新潟県燕三条はモノづくりのまちとして有名で製造事業所数は約 5 千社あり、展示会・見本市などへ出展し、新規開拓・販路拡大を望む事業者も多い。これを機に、地元企業との繋がりも深め、展示会サポートを経営の柱の一つに育てていきたい。

ACTION
取組の内容

出展ブースをまるごと覆う
「ブースラッピング」を開発

小規模事業者の、「低コスト」「コンパクトに収納できる」「設置に人手がかからない」というニーズを基に、ブースの壁をまるごとプリントした布で覆う「ブースラッピング」を発案。クロス印刷は自社所有の設備で可能だが、社名や商品名プレート等のディスプレイツールを制作するため補助金でレーザー加工機を導入した。試作品をいくつも作り、自ら展示会に出展して試作品の使い勝手を検証し続けたことで、完成度の高いパッケージ商品を生み出した。

自分たちが利用してみても初めて本当の問題点やニーズが見える。それを解決していくことで品質が高まったと思います。



代表取締役
沖野 恵子氏

■ 紙以外の印刷業

切り文字屋オッケイ株式会社

Info

住 所 新潟県燕市新堀 2294-3
T E L 0256-78-8117
U R L https://mojiok.info/



会社 HP